

## S T A R B A S E

みなさん、こんにちは。この3月までヒューストンに暮らしていた鶴飼です。日本に帰ってからいろいろな人に挨拶に行くと、よく聞かれるのが「ヒューストンってどんなところ?」「テキサスって何があるの」という質問です。みなさんも赴任前や一時帰国時、あるいはWeb通話などで日本にいる人と話をしたとき、同じような質問を受けたことがあるのではないのでしょうか。

これに対する答え方はいろいろあり、相手が野球好きならアストロズのことを紹介して、大谷翔平選手のいるエンゼルスとは同リーグ同地区だと答えると話が盛り上がるでしょう。食べ物が好きな相手ならTEX-MEXやBBQのことを紹介することもできます。

ですが、ヒューストンをひとことで表そうとしたとき、最も便利な答えは「NASAがある」ということではないでしょうか。ヒューストン南東にはジョンソン宇宙センターがあり、その隣のミュージアムSpace Center Houstonを訪れたことがある方も多いでしょう。そもそもMLB球団のアストロズという名前もヒューストンと宇宙の関係を前提としてつけられており、これはNBAチームのロケッツも同様です。

では、ヒューストンという都市からテキサスという州にまで範囲を広げるとどうでしょうか。「テキサスはNASAのある州だ」というのはあまりピンと来ません。NASAの施設はフロリダやカリフォルニアなど全米各地にあり、テキサスだけにあるわけではないからです。ヒューストンだけではなくテキサス全体で考えると、NASAの存在感はそこまで大きくありません。その代わり、「テキサスは今、アメリカで一番宇宙に近い州だ」と言ってみたらどうでしょうか?

実はアメリカで宇宙開発を手がけているのはNASAだけではありません。最近ではスペースXに代表される民間企業が多数参入しており、緯度が低く広大な土地を有するテキサスは宇宙開発にうってつけの土地なのです。

と言うことで前置きが非常に長くなりましたが、ここからテキサス内の民間宇宙開発企業を巡る旅を始めましょう。

## 【ブルーオリジン】

まず目指すのはアマゾン創業者のジェフ・ベゾス氏が立ち上げたことで知られるブルーオリジン社です。同社の打ち上げ場があるのがテキサスの西の端。ヒューストンからだとIH-10を西に進むこと約600マイル、エルパソの少し手前のヴァンホーンという街から北に向かう道路の途中にあるのですが、中は一般公開されておらず行けるのは入り口まで。ゲートの向こうはただただ荒野が広がっているように見えますが、よく見ると何やら建物があるのも確認できます。

ちなみにこの道路をさらに北上するとグアダルーペ山国立公園があり、ニューメキシコに入ってなお北上するとUFOで有名なロズウェルの街にたどり着きます。ここでも宇宙を楽しめます。



ブルーオリジン打ち上げ場入り口のモニュメント

## 【スペースX】

次に行くのが電気自動車大手テスラの創業者で最近ではツイッター(現X)の買収でも世間を騒がせたイーロン・マスク氏のスペースX社。1段目を回収・再利用するファルコン9型ロケットで有名ですが、今回行くのは有人月旅行を目指して開発中の宇宙船スターシップの試験開発拠点。テキサスの南端、メキシコ国境に隣接したボカチカ海岸の近くにあり、スターベースと名付けられています。ここも一般公開はされていませんが、公道のすぐ近くに施設があり、フェンス越しに開発中のスターシップや組み立て台を見ることができます。なお、写真のスターシップが本物なのか実寸模型などかは不明です。

ここでは入り口の近くにフードトラックが出店してお昼ご飯を食べることもできます。秘密主義のブルーオリジンに対して見せることにもこだわったスペースX。ただの立地の問題かもしれませんが、両社のスタンスの違いも垣間見えるようで面白いです。

ところで上にも書いたようにボカチカ海岸はメキシコ国境に隣接しているため、途中の道路で検問があったりします。旅行を計画している場合はパスポートの携帯をお忘れなく。

ということでテキサスにある民間宇宙開発拠点2ヶ所を駆け足で見ましたが、いかがだったでしょうか。自分も行ってみたくなったという方はあまりいないと思いますが、テキサスが全米で最も宇宙に近い州だということ実は実感いただけたのではないのでしょうか。

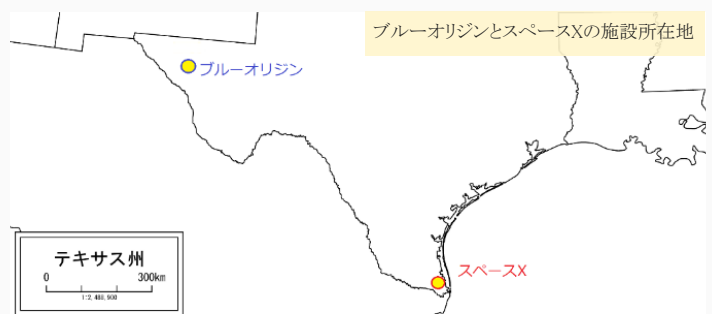
次回、日本の知り合いにヒューストン・テキサスを紹介する時はNASAだけじゃない宇宙への近さをアピールしてみてください。(鶴飼 信)



スターシップの1段目(左)および2段目 x 3体



スターシップの組み立て台



ブルーオリジンとスペースXの施設所在地

テキサス州

0 300km

スペースX